

ほくほくぶっく BOOK

『秋と物語』

六年生 作

木々の葉が赤く染まってきた秋の日。僕は紅葉を見て、秋を感じるために近くの公園へ行った。赤いもみじがひらひらと落ちてくる。まだ昼間なのに夕方のような感じがする。そんなことを考えていると、変なことが頭の中に湧いてきた。「こんなところで恋が生まれたら面白いなあ」と。しかし、いきなりそんなことが起きる訳がない。すると、「だったらそれを題材にして、物語を書いてみよう」と思った。

猛スピードで家に帰り、すぐに書き始める。書店で売っている本も参考にしながら書き進める。物語が完成して、これまでにない達成感と楽しさを覚えた。ゲームしかやってこなかった僕が、物語をつくり、また、本を読むことにハマったのだ。最近では、ちよつと出かけた時に考えたことを物語にして書いている。

僕は、ゲームよりも楽しいものに気付いたのだ。

*この作品は、作者から許諾いただき掲載させていただいております。

6年生が国語の授業で「写真をみて物語をつくろう」という取組をしていました。書かれた物語はどれも、とても素晴らしいものでした。今回はその中に新しい作品を書いてもらいました。いかがでしたか？

読むこと・表現することの応援を、これからも図書室でしていきたいと思ひます。

しゃしんえほん 写真絵本 とくしゅう



“写真絵本”では、みんなが実際に見ることはできないものもじっくり見ることができます。見たことのない世界にワクワクがつまっていますよ！

「ケルミの森のニホンリス」

森の中でリスがエサをかくしている様子。仲間と遊んでいる様子など、森にリスを探しにいきたくなります。

「石の卵」

本をひらいてパッカーン！この石には秘密がかくされています。どうしてこんな石ができたのでしょうか？みんなの中のはてな？がふえていきますよ。

「地球温暖化、しずみゆく楽園ツバル」

ツバルという国は、ニュージーランドの北にあります。9つの島々と美しい海からできています。地球温暖化が進むことで島にも異変がおきています。そこに住む子供達の願いはどんなことでしょうか？



前回のおたよりを持って本を選んでくれている子供達をみました。読んでみたい！自分でみつけるぞ！の気持ちが伝わってきました。また、保護者の方も読みたい！にチェックして下さったこともうれしく思います。子供達の読みたい！をこれからも大事にしていきたいと思ひます。